



「未来への希望を込めて」

いよいよ令和の時代に入りまし
た。まだ使い慣れないこの新しい
元号も時間の流れとともに生活に
馴染んでいくのでしょうか。もつと
も、時間をどのように彩っていく
かはわたしたちの思いや行動にか
かっていると思えば、この“令和
時代”の歴史やイメージを作り上
げていくのもわたしたち自身なの
ですね。さて、シャローム横浜に
は5月現在、明治生まれの方は居
られません、令和から遡ること
3つ前の時代、つまり大正生まれ
の方は多く居られます。わたし自
身は昭和生まれですが、幼い頃、
明治生まれの祖母からは多くのこ
とを聞かされました。決まって土
曜日の午後、祖母は自らが体験し
てきたこと(戦争の話が多かった
です)を、孫たちを集めてよく話
してくれました。そのことを通し
てわたしは平和の尊さを強く意識
するようになったように思いま
す。

「伝え聞く」という行為の中で
後の者は歴史を知り、そこに自ら
のアイデンティティーを見出すの
です。ですからこれから後の時代
の人々が未来に向けて希望をもっ
て生きてもらうためにも、先に生

まれた者として明るい歴史を語れ
るようにしっかりと生きていたいと思
います。

聖書の中に「無垢であらうと努
め、まっすぐに見よう」とせよ。平
和な人には未来がある」という言
葉があります。福祉はいつの時代
も平和を語ってきました。福祉と
いう言葉には未来への希望が込め
られています。確かに制度はすべ
ての人の思いを完全に満たすこと
はできませんが、福祉が制度を通
じて実践されるべき、そこには
“平和”の思想が込められていな
いといけません。漠然とした表現
ですがその意味でシャローム横浜
は常に“平和”をつくり“希望”
をもたらず役割を担っているとい
うに言い聞かせています。

これから始まる新しい令和時代
を、多くの人々が平和を実感でき
る世の中にしていくために、シャ
ローム横浜の在宅、施設の各サー
ビスが具体的にどのようなことが
できるのかをスタッフ全員で考え
実践していきたいと思えます。そ
のためにも皆さまのご指導を心よ
りお願い申し上げます。

村本 英邦

今月のギャラリー

「シャローム横浜ガーデン」

春を迎え、シャローム横浜の周
りに、たくさんのお花が咲きはじ
めました。右上は藤棚、下は真っ赤
な君子蘭です、共に最盛期を過ぎ
ましたが、色とりどりのお花で、に
ぎやかになりました。池の鯉も水
が暖かくなってきたのか、ゆった
りと優雅に泳いでいます。どうぞ
癒されにお越しく下さい。

事務局 溝口 成一



あったかいが
いいね

第226号
令和1年5月15日発行
(毎月1回15日発行)

責任者: 施設長 村本英邦
〒241-0802
横浜市旭区上川井町1988
アドベンチスト福祉会
シャローム横浜

編集 椎橋・遠藤(裕)・溝口
☎ 045-922-7333

お知らせ 2019年度 特養家族会総会

4月28日に特養の家族会総会が開催され、平成30年度をもって小川会長はじめ長年務められた役員の方々が退任されました。これまでご活躍いただき、ありがとうございました。今年度は職員が中心となり、茶話会などを企画する予定です。みなさまのご参加をお待ちしています。

また本年はシャロームデーでの家族会バザーを行わないこととなりました。あわせてバザーのための献品の受付を中止とさせていただきます。これまでご協力に感謝いたします。これからもシャローム横浜家族会をよろしくお願いいたします。

生活相談員 遠藤 裕之



デイサービス ボランティア様の紹介

今月は夢熊さんのご紹介を致します。「夢熊」という芸名で活動され、リコーダーの癒しの音色と軽快なトークで皆様を楽しませてくださいます。ジャンルは様々で歌謡曲や、クラシック、その季節に合った唱歌など。また、中国での演奏経験もあるとのこと、私たちが普段あまり聴く機会のない、中国の曲なども演奏してくださいます。ご利用

者様が心待ちにしている演奏会のひとつです。

デイサービス 竹内 未来



あでやかさは偽りであり、美しさはつかの間である

第134回 チャプレン 上前至

10連休を皆様はどのように過ごされたでしょうか？この連休は日本人が初めてとった長い連休で初めての経験ということです。あるアンケートによると、こんなに長い休みはいらないと答えた人が70%近くあったとか・・・。ちなみに私はといえば、私の家族はふだんは遠くに住んでいて、ばらばら、長女は広島、次女は奈良、長男は東京ということで、めったに会えません。ということで、この機会の連休を利用しない限り一同、会することはなかなか難しい。そこで、丁度、真中に住んでいる次女の奈良に集合と相なりました。会って孫の成長振り

にびっくり、いつの間にか大きくなって大人びた娘になっていることにこちらがまごまご、時の過ぎ行くことの速さを実感しました。そして、その時、私が3月30日をもって70歳を過ぎ古希になっていることをサプライズで祝ってくれたこともよき思い出となりました。これら一連の事を通し、改めて家族の絆の大切さを感じさせられる連休となりました。聖書の箴言は、そういう家族のために父から子に伝えられた教訓の書であることを最近の教会の学びの中で教えられました。その究極の教えは「主を畏れること」であるということです。これは老若

男女を問わず人類普遍の教えなのです。ですからこれらの教えを別名「ソロモンの智慧」とも呼んでいます。家族の幸せの基礎もここにあることを覚えたいものです。

「あでやかさは偽りであり、美しさはつかの間である。しかし、主を恐れる女はほめられたえられる。」箴言31章30節

